

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 一般国道275号 <small>ほろかない</small> 幌加内峠	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局															
起終点 自： <small>ほっかいどうふかがわ</small> 北海道深川市多度志町鷹泊 至： <small>ほっかいどうりゅう</small> 北海道雨竜郡幌加内町下幌加内		延長 4.6 km															
事業概要 一般国道275号は、札幌市を起点とし、石狩、空知、上川の各支庁を経て宗谷支庁の浜頓別町へ至る延長約282kmの幹線道路である。 幌加内峠は、深川市と幌加内町を結ぶ峠部の線形不良及び急勾配ならびに幅員狭小による隘路区間を解消し、道路交通機能の向上と、交通安全性の確保を図る事を目的とした延長4.6kmの事業である。																	
H5年度事業化 H一年度都市計画決定 H8年度用地着手 H8年度工事着手																	
全体事業費 78億円 事業進捗率 51% 供用済延長 0km																	
計画交通量 1,800台/日																	
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">2.1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	2.1	(残事業)	3.9		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">45/86億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">34/75億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">11/11億円</td> <td></td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	45/86億円	(事業費)	34/75億円		(維持管理費)	11/11億円	
B/C	(事業全体)	2.1															
(残事業)	3.9																
総費用	(残事業)/(事業全体)	45/86億円															
(事業費)	34/75億円																
(維持管理費)	11/11億円																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">178/178億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">177/177億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行費用減少便益)</td> <td style="text-align: center;">0.9/0.9億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">0.0/0.0億円</td> <td></td> </tr> </table>		総便益	(残事業)/(事業全体)	178/178億円	(走行時間短縮便益)	177/177億円		(走行費用減少便益)	0.9/0.9億円		(交通事故減少便益)	0.0/0.0億円		基準年 平成19年			
総便益	(残事業)/(事業全体)	178/178億円															
(走行時間短縮便益)	177/177億円																
(走行費用減少便益)	0.9/0.9億円																
(交通事故減少便益)	0.0/0.0億円																
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.4（交通量 +10%） B/C=3.6（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=3.7（事業費 +10%） B/C=4.3（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=3.9（事業期間+20%） B/C=4.0（事業期間-20%）																	
事業の効果等 ・災害への備え（冬期交通障害区間を解消する） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる）																	
関係する地方公共団体等の意見 観光ネットワークの形成や産業振興のため、地元自治体等で構成する期成会が事業促進の要望を行っている（北海道空知地方総合開発期成会、小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会）。																	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成7年度にJR深名線が廃止され、路線バスによる運行が行われている。 平成10年度より深川留萌自動車道が順次供用している。																	
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成8年度より工事着手し、用地進捗率100%、事業進捗率51%となっている。																	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。																	
施設の構造や工法の変更等 橋梁上部工における合成床版の採用や建設副産物対策などによりコスト縮減を図っている。																	
対応方針 事業継続																	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すると、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																	
事業概要図																	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。